



第10期定時株主総会

株式会社新生銀行
平成22年6月23日



事業報告

平成21年度連結業績の概要:

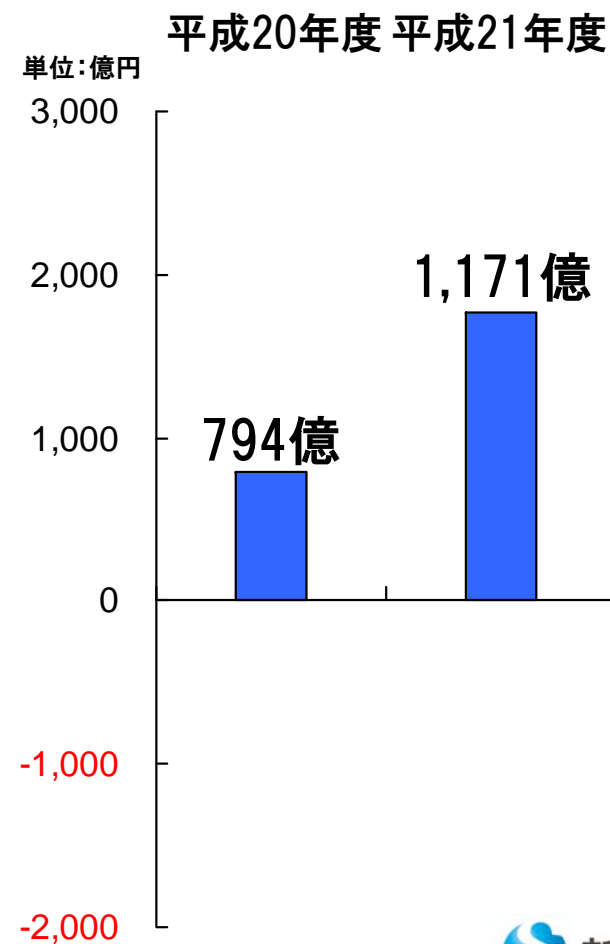
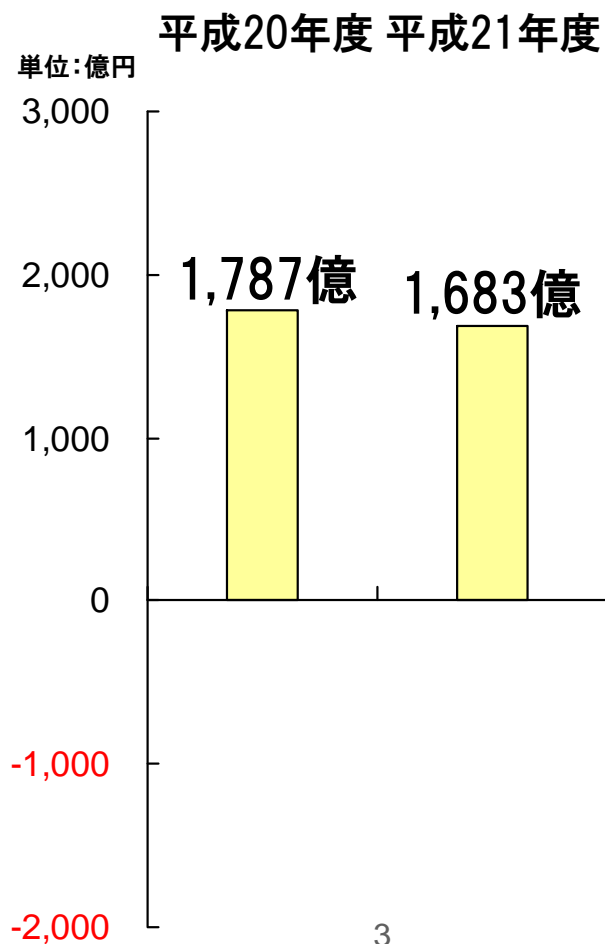
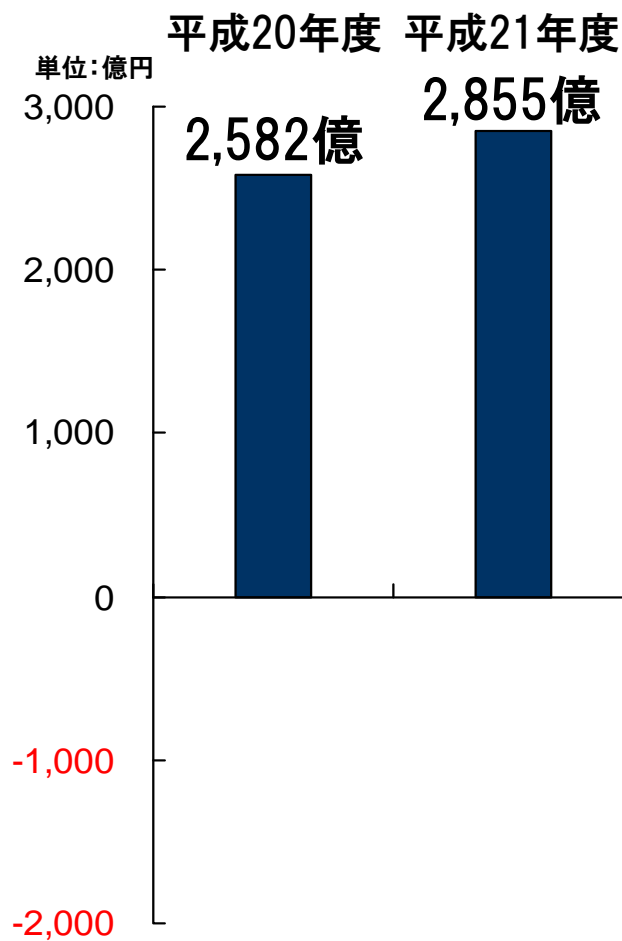
業務粗利益、経費、実質業務純益

業務粗利益の伸張と経費の削減により実質業務純益は増加

業務粗利益

経費

実質業務純益



平成21年度連結業績の概要:

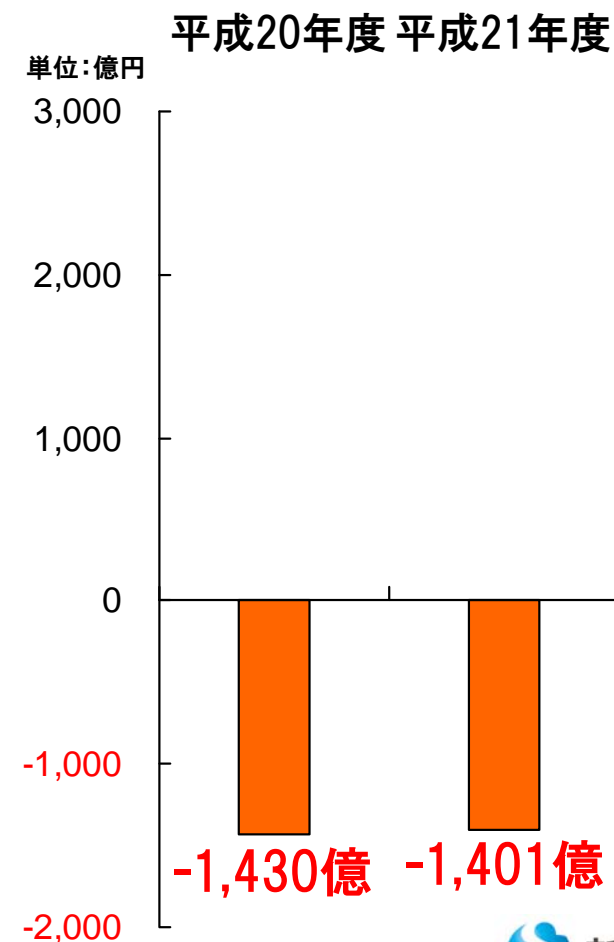
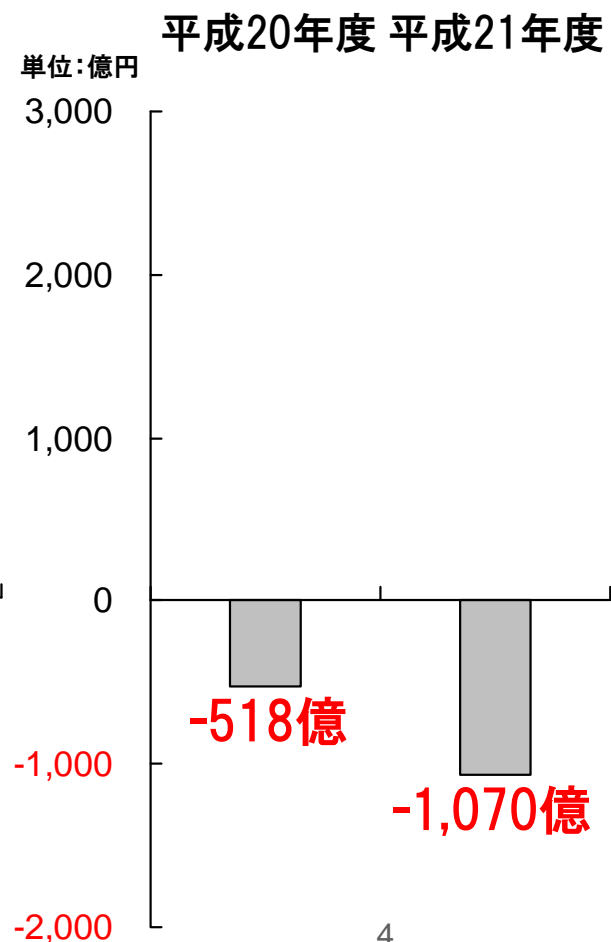
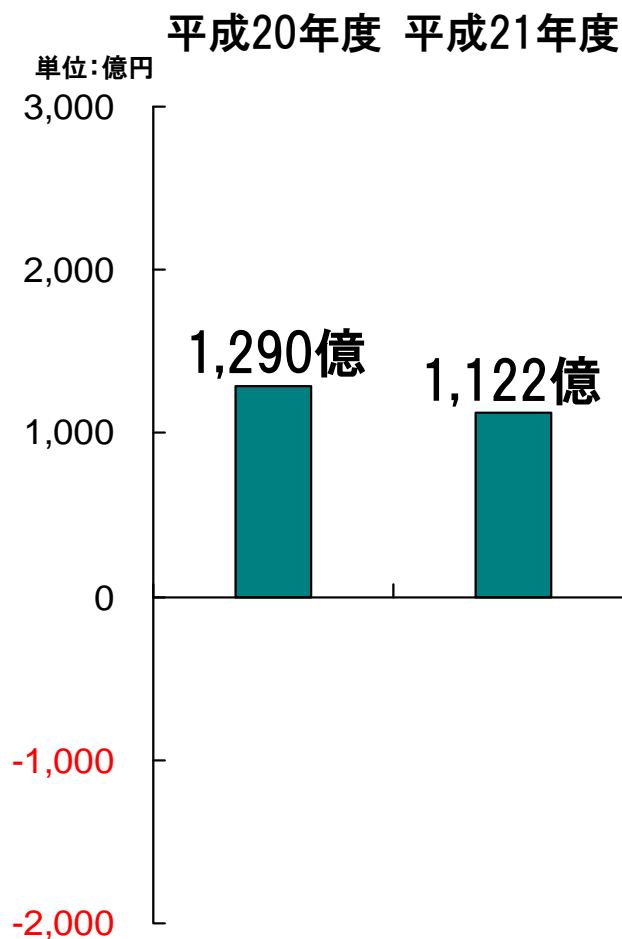
与信関連費用、与信関連費用加算後実質業務純益、当期純利益(損失)

主に非経常的要因により、当期純損失を計上

与信関連費用

その他損失

当期純損失



法人・商品部門:

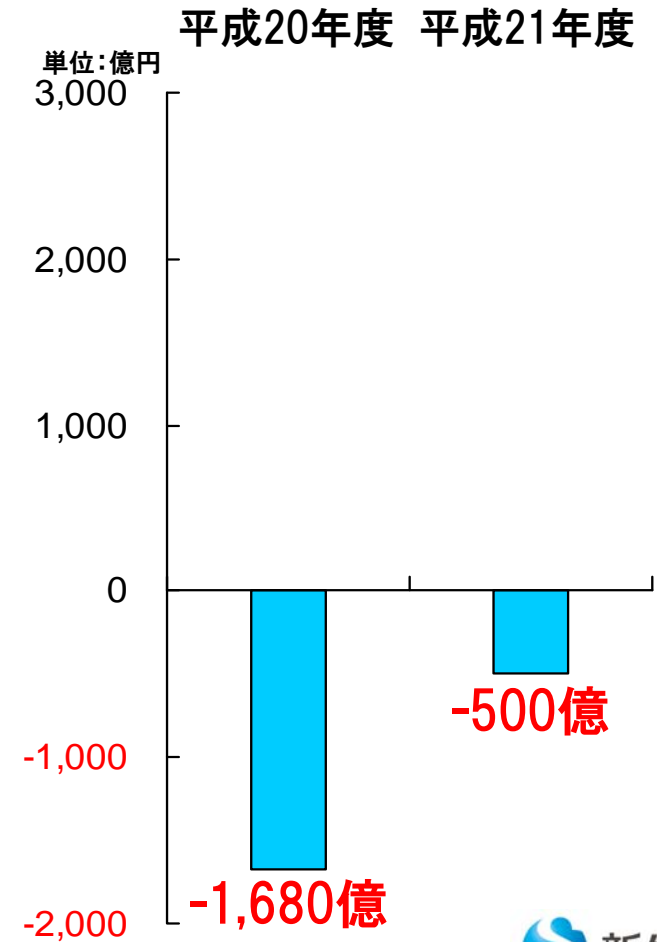
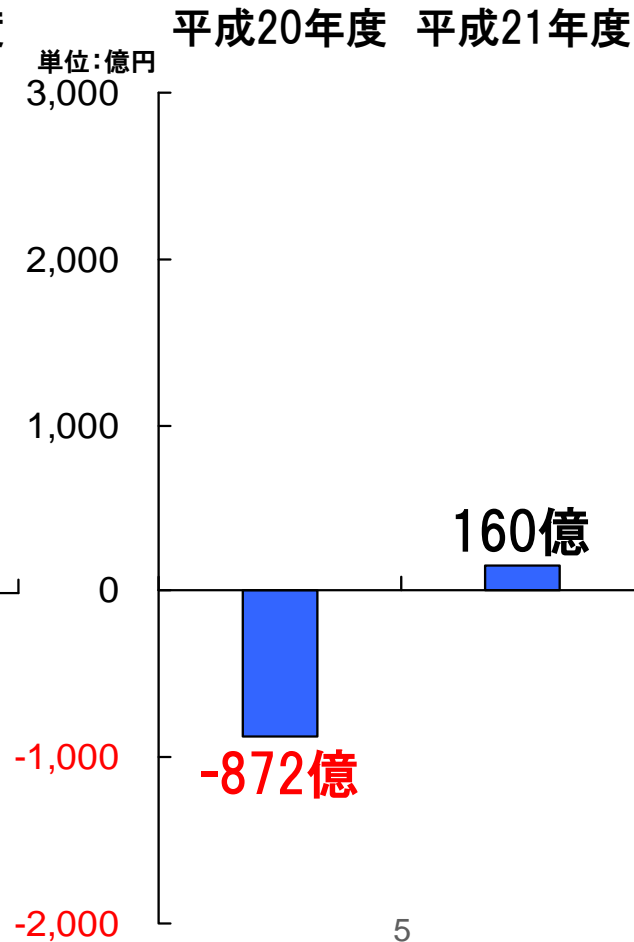
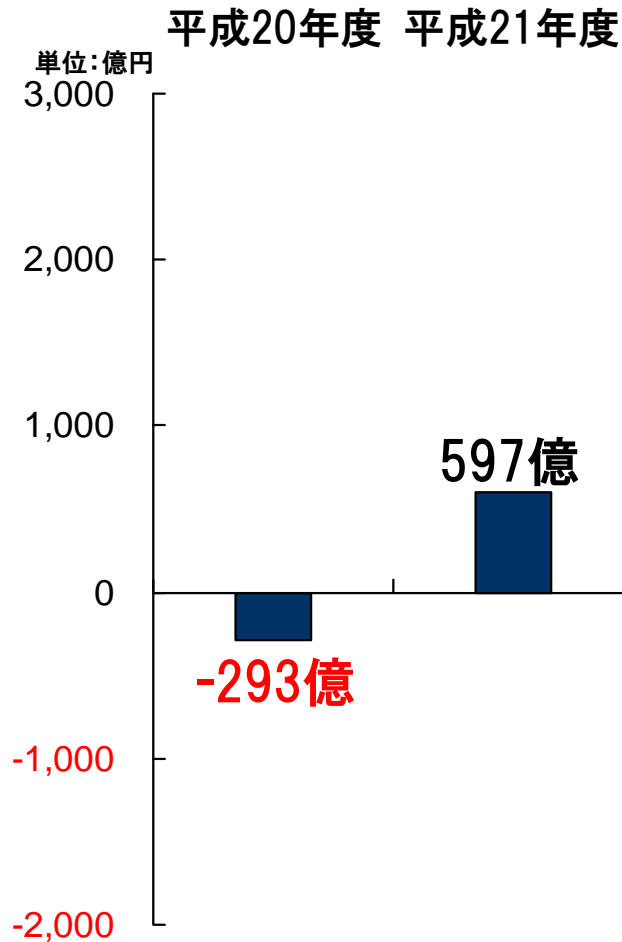
業務粗利益、実質業務純益(損失)、与信関連費用加算後実質業務純益(損失)

非経常的な損失が法人・商品部門の業績に影響

業務粗利益

実質業務純益(損失)

与信関連費用加算後 実質業務純損失

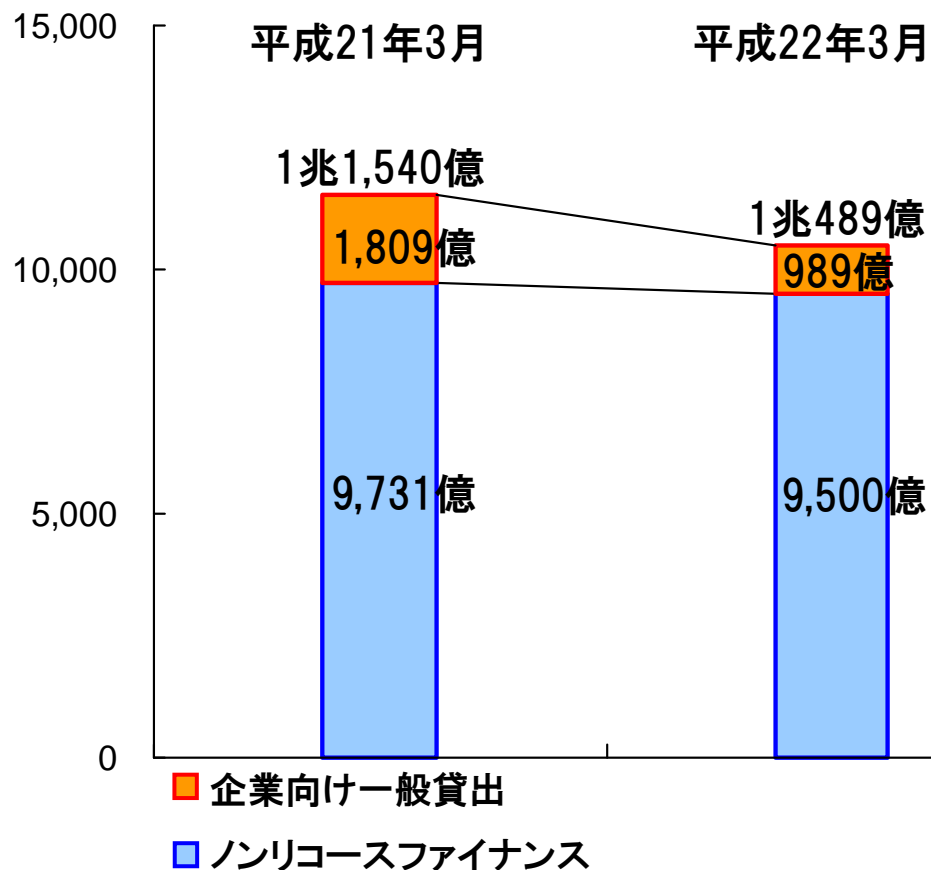


法人・商品部門： 不動産ポートフォリオ

不動産ポートフォリオは削減しつつ、高い保全率を維持

不動産ポートフォリオ

単位：億円



* ノンリコースローンの保全率は約98%

債務者区分別

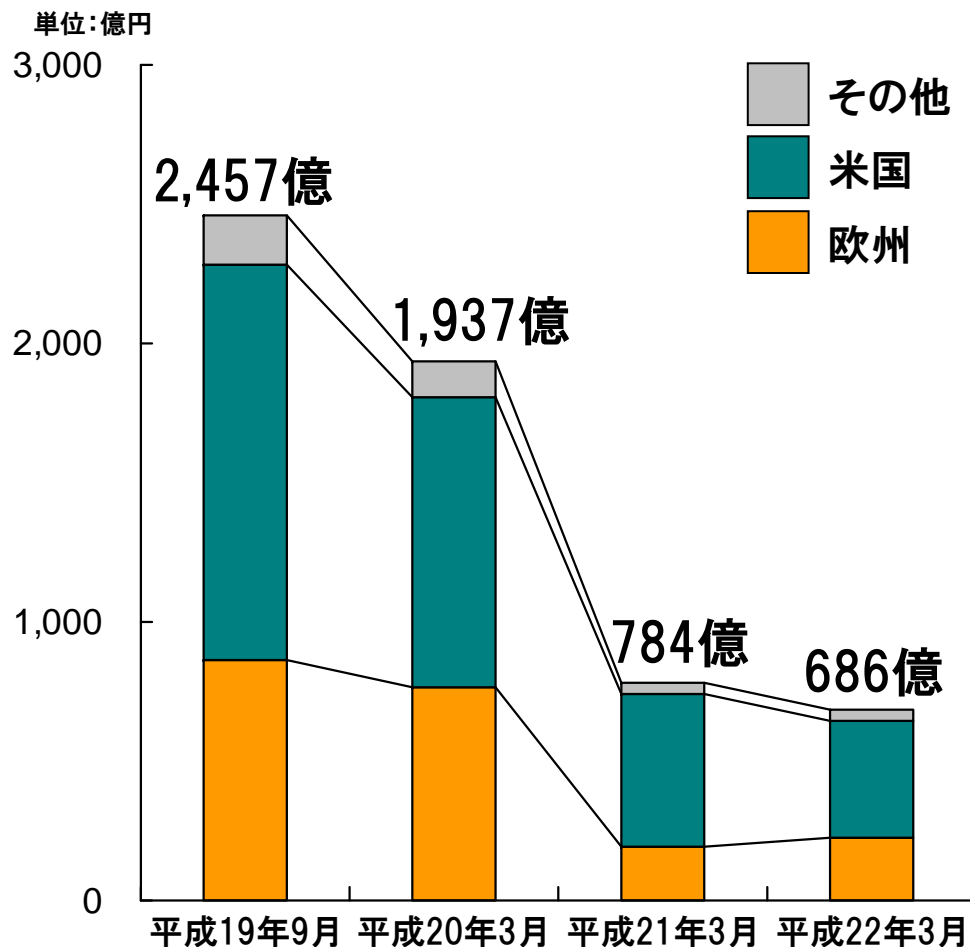
不動産ローンポートフォリオ残高

| | 残高 |
|-----------|---------|
| 正常先 | 5,344億円 |
| 要注意先 | 2,021億円 |
| 正常債権 小計 | 7,365億円 |
| 要管理、破綻懸念先 | 2,390億円 |
| 実質破綻、破綻先 | 735億円 |
| 不良債権小計* | 3,125億円 |
| 合計 | 1兆489億円 |

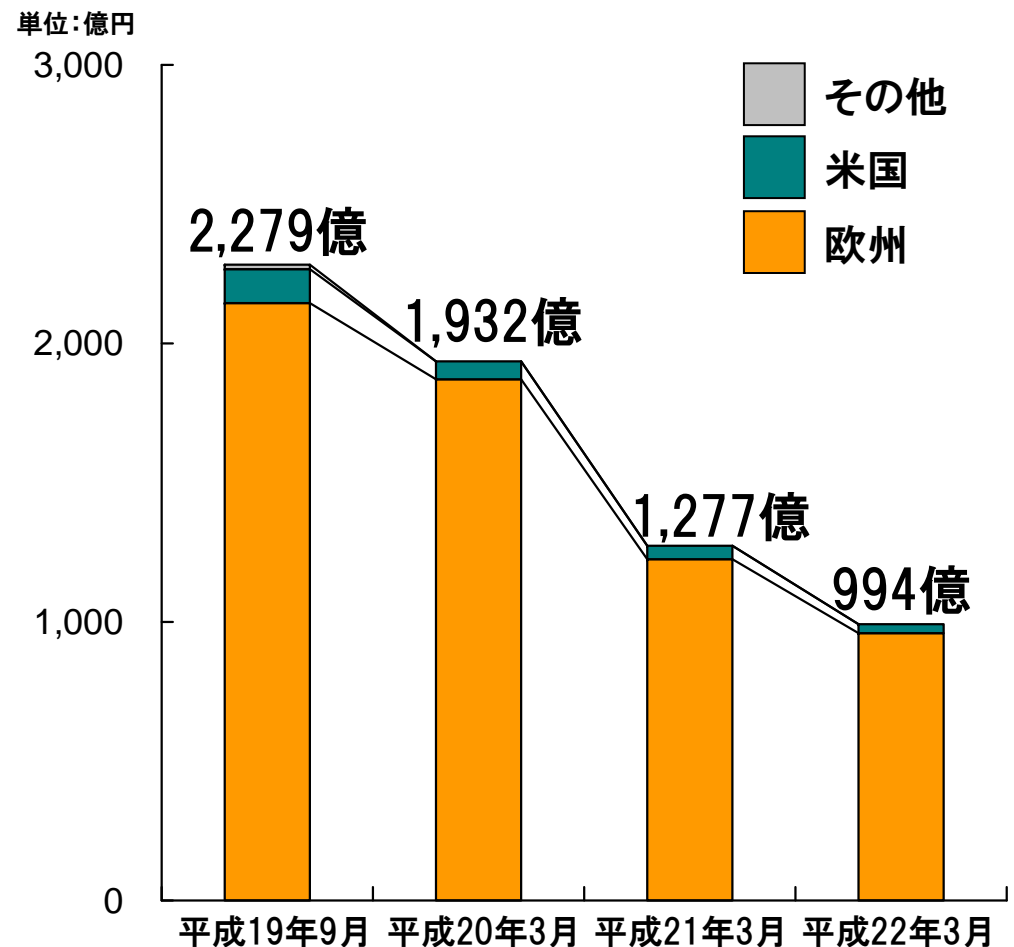
法人・商品部門： 海外アセットバック証券・投資

海外アセットバック証券・投資は段階的に縮小

海外アセットバック証券(証券化商品*)



海外アセットバック投資(貸出金)



* 決算概要P51-P52で開示している証券化商品

個人部門:

業務粗利益、実質業務純益、与信関連費用加算後実質業務純益

リテールバンキング業務とコンシューマーファイナンス業務に一層注力

業務粗利益

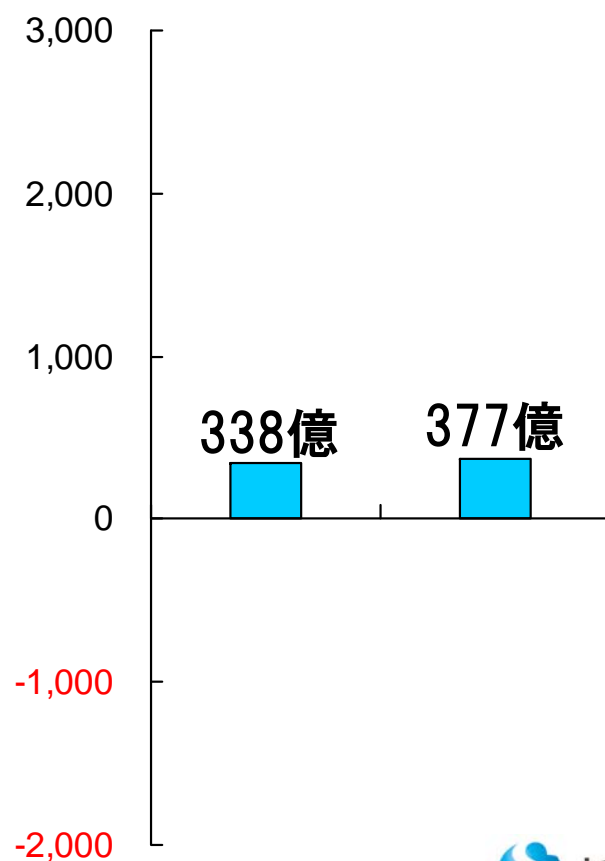
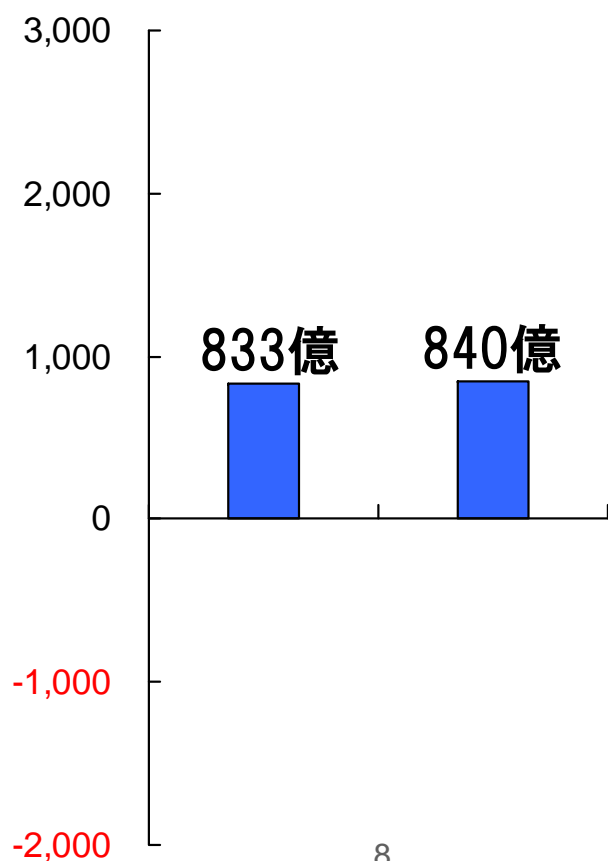
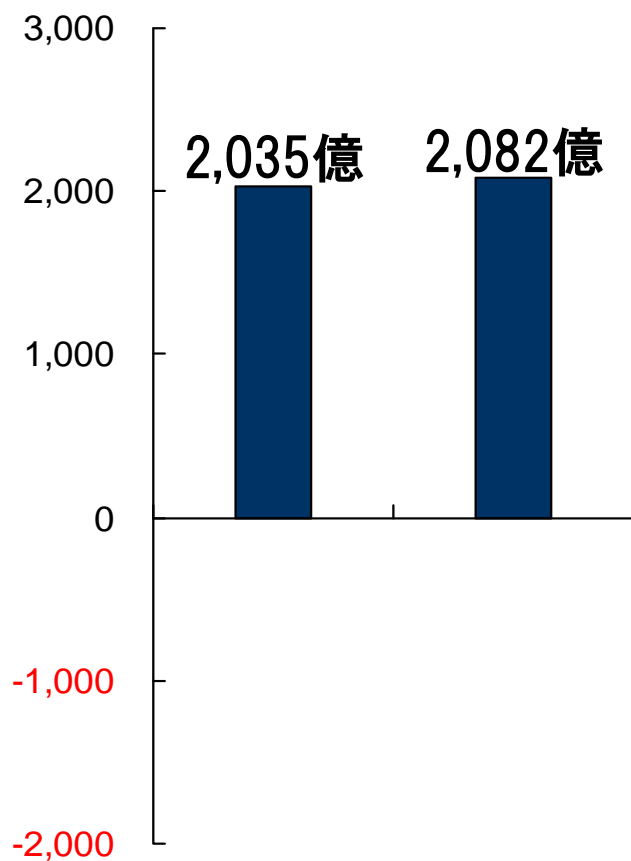
実質業務純益

与信関連費用加算後 実質業務純益

単位:億円 平成20年度 平成21年度

単位:億円 平成20年度 平成21年度

単位:億円 平成20年度 平成21年度

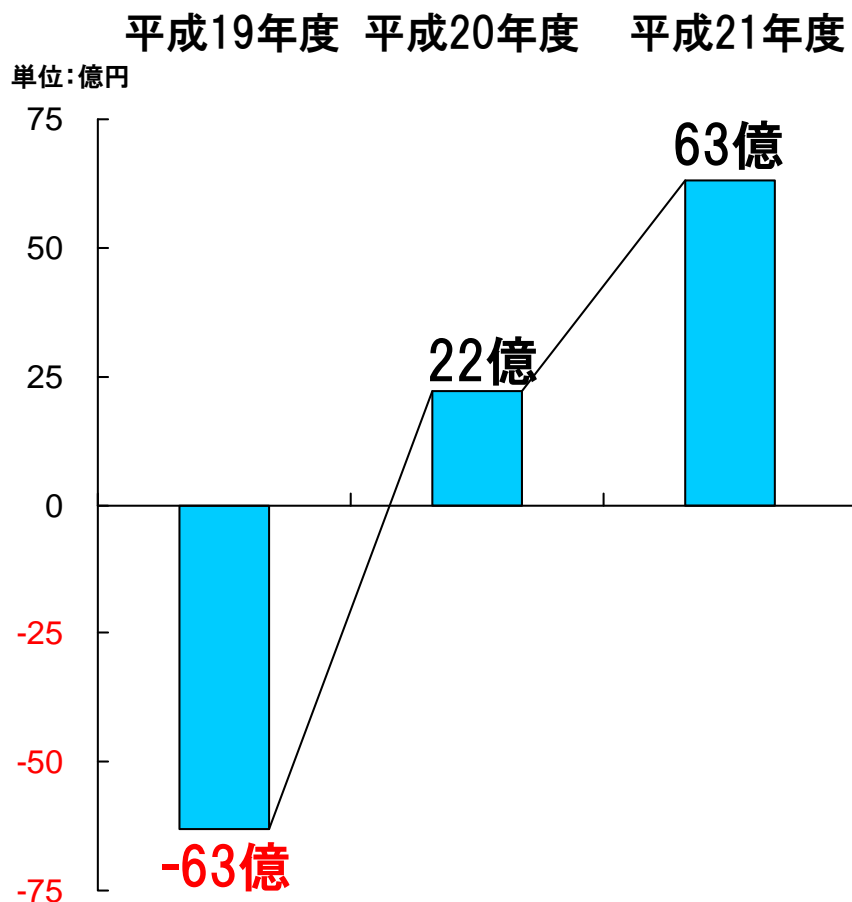


個人部門:

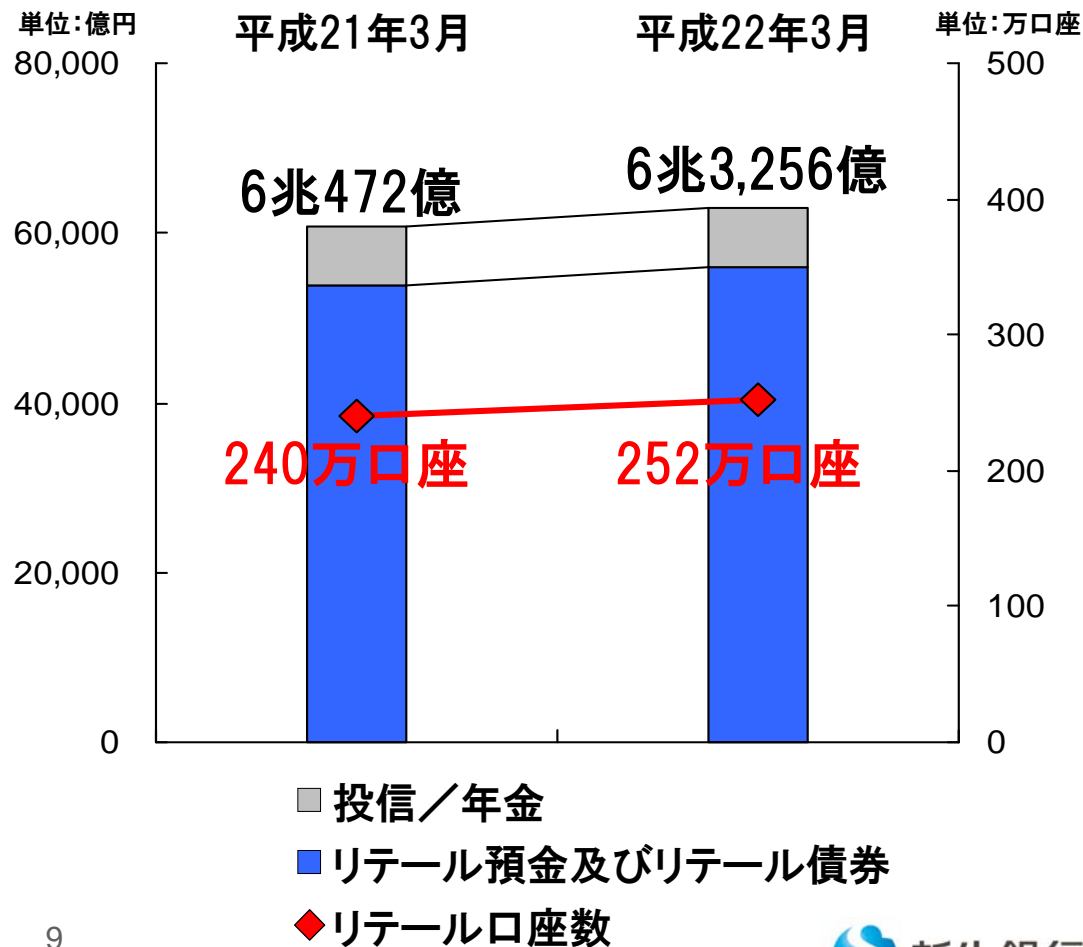
リテールバンキング業務: 実質業務純益(損失)、預り資産

新生フィナンシャルが加わり資産が増加、リテール預金も引き続き増加

与信関連費用加算後 実質業務純益(損失)



預り資産



個人部門:

消費者金融ファイナンス業務: 過払利息返還

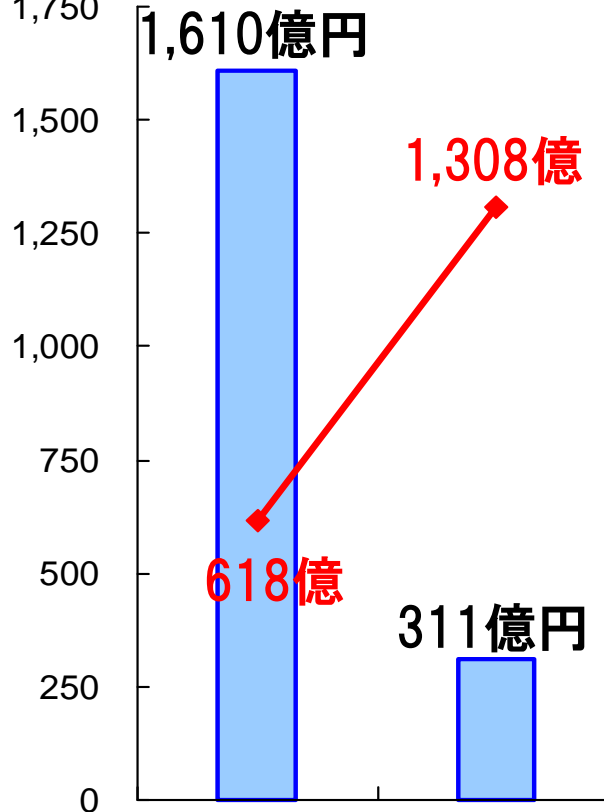
新生フィナンシャルはGEの補償、
その他の子会社は業界水準の引当金を確保

新生フィナンシャル*

アプラスフィナンシャル

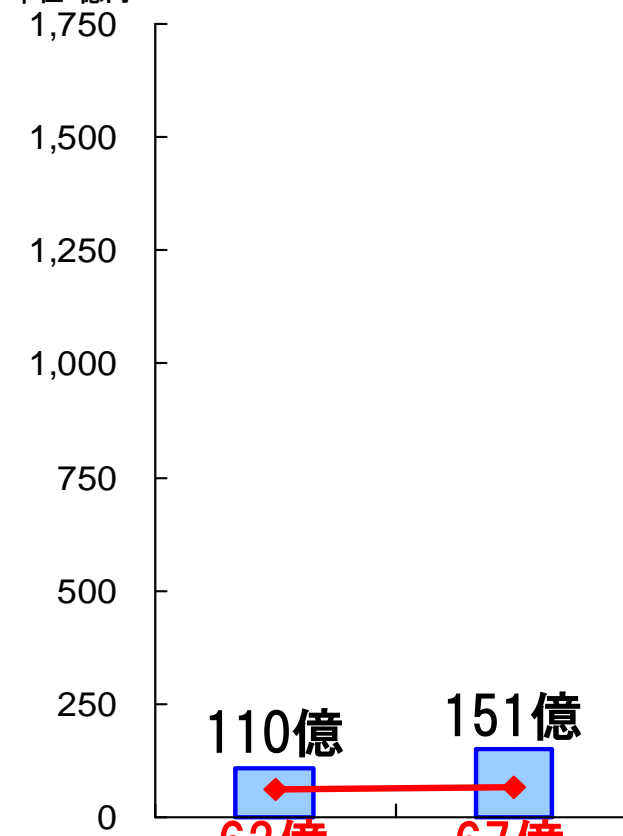
シンキ

平成20年度 (6ヶ月) 平成21年度 (12ヶ月)



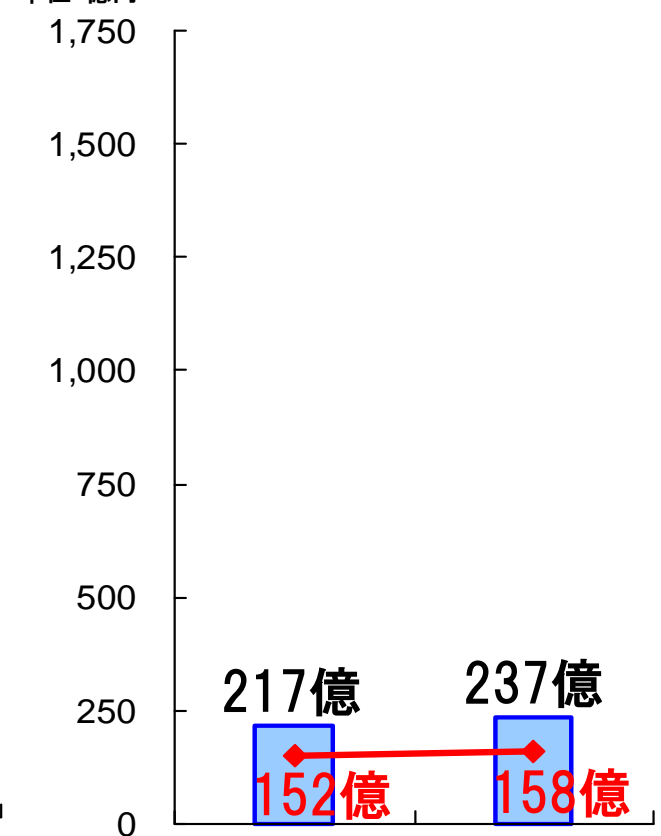
■ 利息返還損失引当金

平成20年度 平成21年度



■ 利息返還額

平成20年度 平成21年度



* 過払利息返還損失を受けるリスクのある取得資産のうち相当な部分について、GEによる過払利息返還にかかる損失補償が付与

経営勘定/その他:

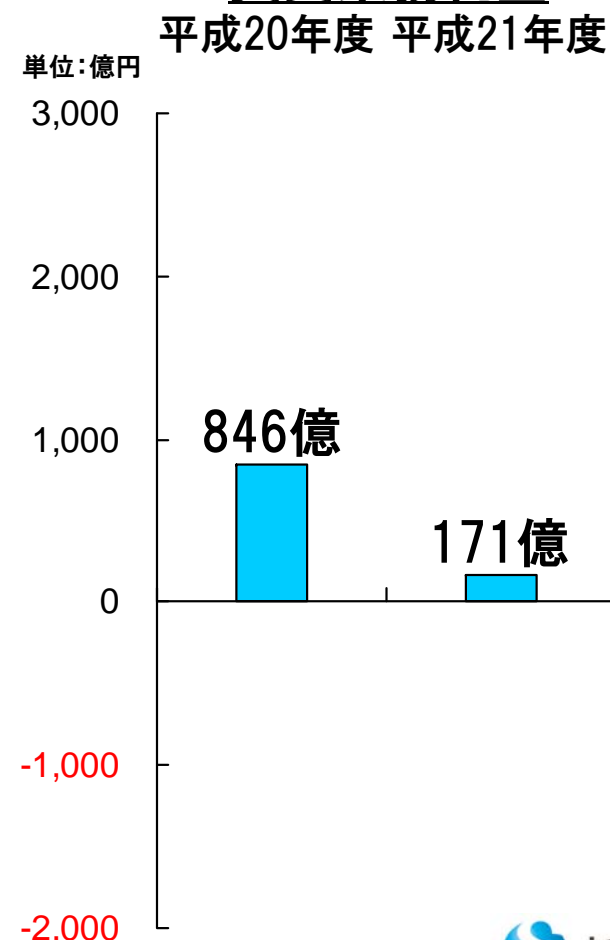
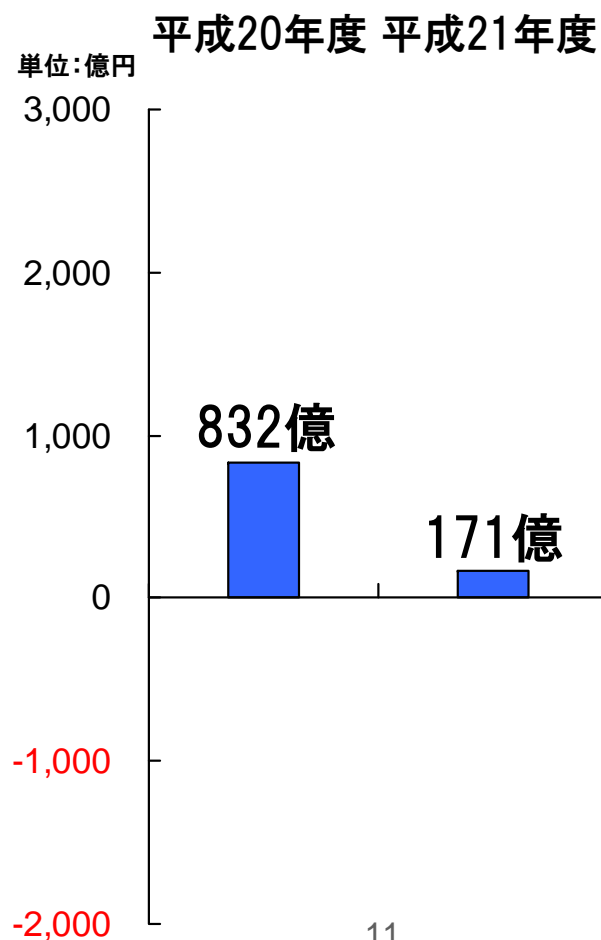
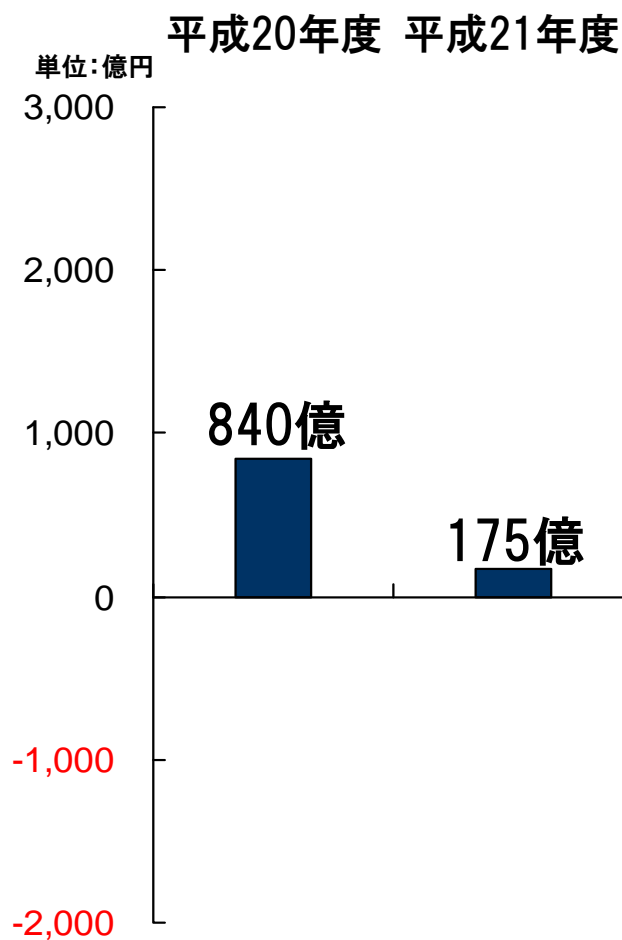
業務粗利益、実質業務純益、与信関連費用加算後実質業務純益

経営勘定が収益に大きく貢献

業務粗利益

実質業務純益

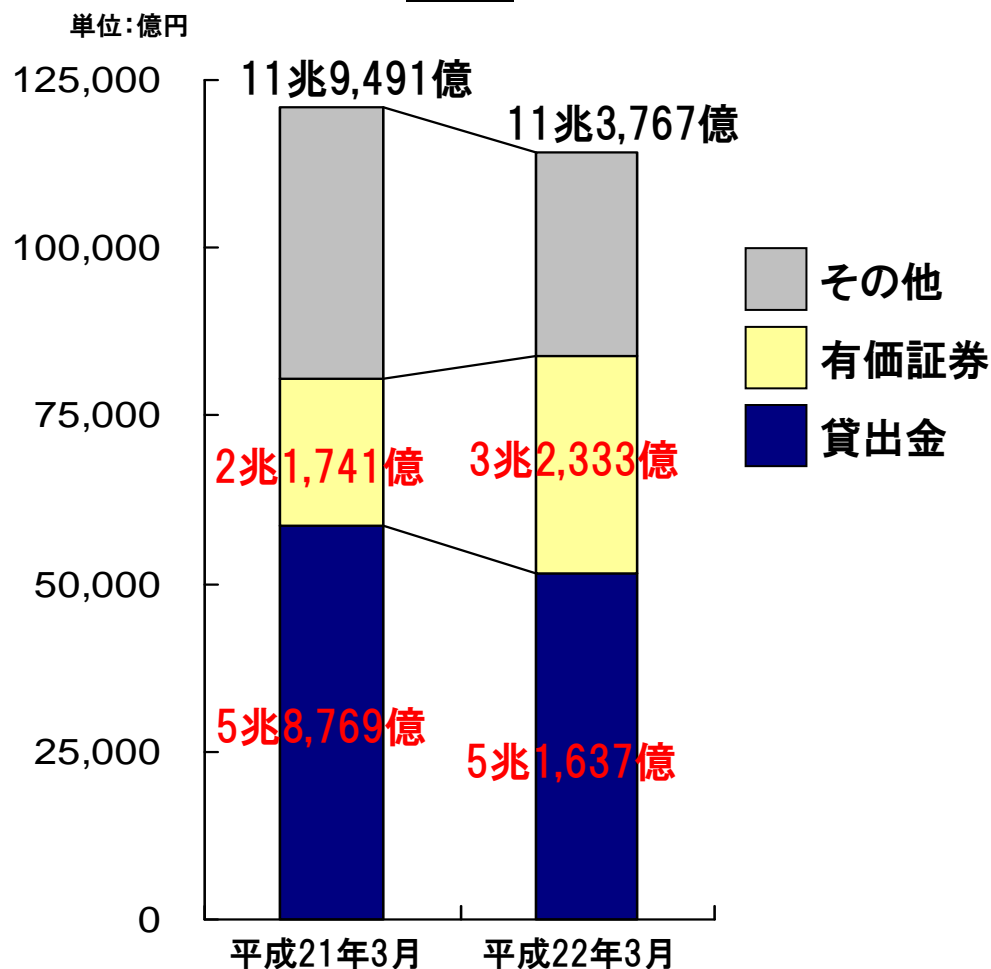
与信関連費用加算後 実質業務純益



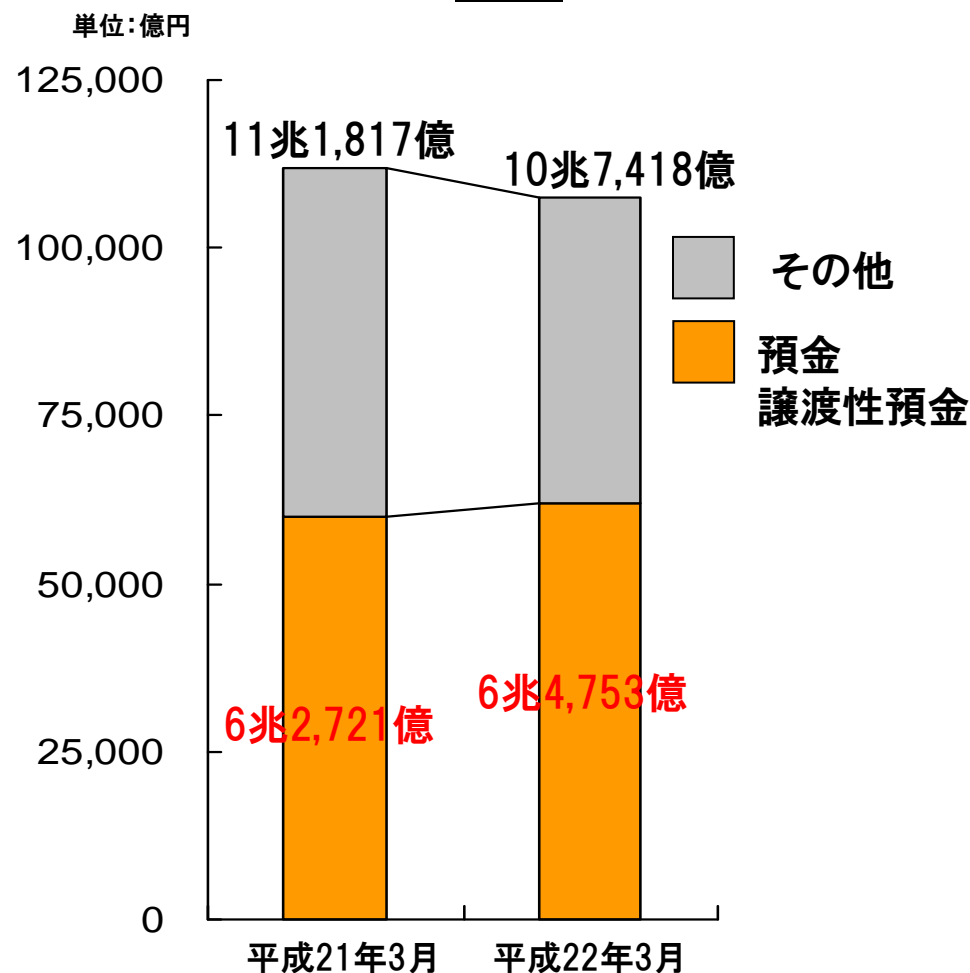
資産の質： 資産と負債

中核業務に注力するため総資産は減少するものの、
預金による資金調達を通じて流動性は確保

資産



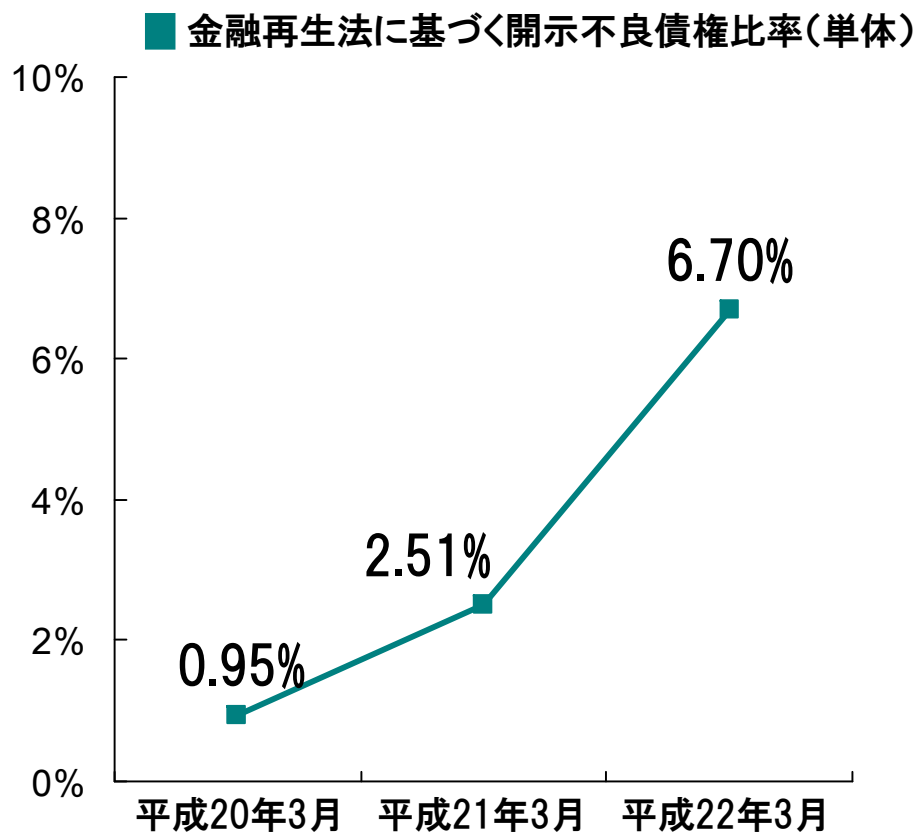
負債



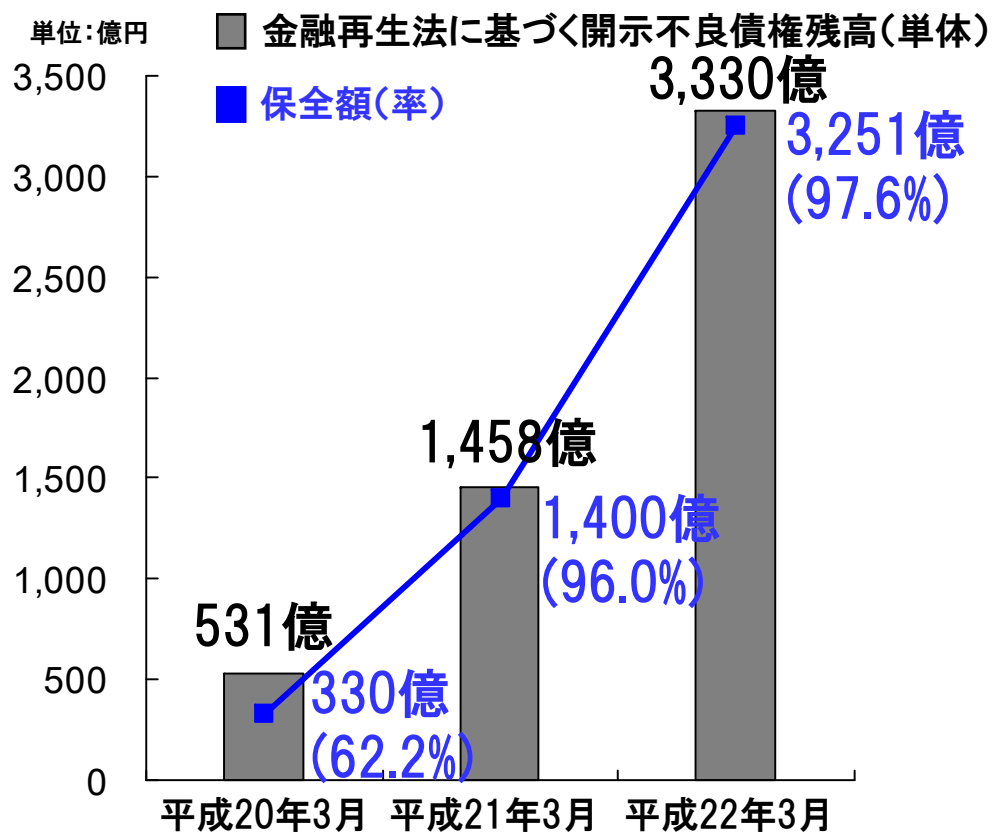
資産の質： 不良債権比率

不良債権比率は上昇するものの、高い保全率を確保

不良債権比率



不良債権残高と保全額(率)



資本： 自己資本

資本基盤の強化に向けた戦略を実施

自己資本関連情報

| 単位：億円 | 平成21年3月 | 平成22年3月 |
|-----------------|----------|----------|
| 基本的項目 (Tier I) | 5,800億 | 4,907億 |
| 補完的項目 (Tier II) | 3,273億 | 2,687億 |
| 控除項目 | (1,039億) | (1,140億) |
| 自己資本金額 | 8,034億 | 6,454億 |
| リスクアセット | 9兆6,210億 | 7兆7,221億 |
| 自己資本比率* | 8.35% | 8.35% |
| Tier I 比率** | 6.02% | 6.35% |
| コアTier I 比率*** | 4.03% | 4.05% |
| TCE レシオ**** | 3.00% | 3.09% |

*自己資本比率 = 自己資本金額 / リスクアセット

**Tier I 比率 = 基本的項目 (Tier I) / リスクアセット

***コアTier I 比率 = (Tier I 資本 (除く優先出資証券、優先株式) - 繰延税金資産の純額) / リスクアセット

****TCE (Tangible Common Equity) レシオ = (純資産 - 優先株式 - 無形固定資産 - 少数株主持分) / (総資産 - 無形固定資産)

流動性： 資金調達

主要資産にかかる資金調達については、内部資金で調達

資金調達内訳

| 単位：億円 | 平成21年3月 | 平成22年3月 |
|--------------|----------|----------|
| 顧客からの資金調達 | 6兆9,476億 | 6兆9,591億 |
| 法人預金 | 1兆2,490億 | 1兆1,703億 |
| 法人債券 | 3,674億 | 1,977億 |
| リテール預金 | 5兆230億 | 5兆3,050億 |
| リテール債券 | 3,081億 | 2,859億 |
| コールマネー | 2,815億 | 3,104億 |
| 売現先勘定 | 538億 | 84億 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 5,695億 | 5,484億 |
| コマースシャル・ペーパー | 1億 | — |
| 借入金 | 1兆123億 | 1兆1,868億 |
| 社債及び短期社債 | 2,779億 | 2,059億 |
| 合計 | 9兆1,430億 | 9兆2,193億 |

■ 中間配当金、期末配当金ともに

1株につき 0円00銭



業績予想:

当期純利益予想、配当予想

- 連結当期純利益：125億円
- 単体当期純利益：100億円
- 期末配当：1株につき 1円00銭

